

ときめき

特集

p4~9

世代をつなぐ農業

～東久留米の今～

2009 春

NO.

42

トップ・インタビュー p2~3

「人の声の“あたたかさ”を伝えたい」

～癒しのハーモニーを目指すアカペラコーラスグループ～

Soft Voice

情報ホットライン p10~11

書籍紹介 講座レポート

ファイティ²から p12

「パパクラブ@東久留米へ」メンバー募集中!!

Top INTERVIEW



人の声の“あたたかさ”を伝えたい

癒^{いや}しのハーモニーを目指すアカペラコーラスグループ

Soft Voice

「Soft Voice」(ソフトボイス)は、大学生4人(取材時)の女性グループです。各地でライブ活動を行いながら、東久留米市の成人式や「市民みんなのまつり」、友好都市の高崎市榛名地域でも、地域で生まれ育った美しい歌声を聞かせてくれました。4人の言葉のハーモニーをお楽しみください。

※敬称は、略させていただきます。

Soft Voiceを結成したきっかけは？

はるか もともと「少年少女合唱団みずうみ(現在、東久留米でレッスン中)」と一緒に歌ってきた仲間なんです。団員が6人と少なくなり、外にも目を向けてみようという合唱団事務局の意向で、2003年にティーンズ・ミュージック・フェスティバルというイベントに出場したのがきっかけで結成しました。そのときにグランプリをいただき、本当にびっくりしました。その後、2年連続で練馬区主催の「夢・エリア・ねりまアカペラコンテスト」にも出場し、3位と審査員特別賞をいただきました。

Soft Voiceの前身は？



はるか メンバーそれぞれが考えてきたものを、投票で決めました。他には、「ミルクティー」とかもありました。

2007年の青春アカペラ甲子園全国八モネブリグ(以下八モネブ)では見事優勝されましたね。

あさこ それまでも、お祭りで歌うなど色々な活動をしていたので、その一環として、応募してみようかと軽い



はるかさん



気持ちでオーディションを受けました。645組が参加して、最終的には、15組が本選に出場できました。

あさこ 私たちは女の子だけのグループで、ボイスパーカッションもないし、他のグループとは違っていたので、最初はそれを気にしていました。でも、途中で開き直り(笑)吹っ切れたので、のびのびやれました。

本選で「リンゴの唄」「銀座カンカン娘」を選曲したのは？

あさこ 私たちは合唱団育ちなので、

*アカペラ

楽器を使わず、人間の声だけで演奏すること。

*ボイスパーカッション

打楽器の音をそっくり口で表現すること。



日本の曲や童謡も好きなんです。だから逆にやり易かったです。

八モネブで優勝した反響はありましたか？

あさこ 全国からHPの掲示板にたくさん書き込みをいただきました。また、ハモネブを見て合唱団に入りたいと、人数が増えたことがうれしかったです。団員は徐々に増えて、現在は20人になりました。

現在の活動は？

みき 企業、学校、自治体など全国からオファーをいただいで歌ったり、Soft Voice事務局主催で、ライブを開催したりしています。1月には、天皇杯・皇后杯全日本卓球選手権で歌いました。自主制作のCDも4枚

販売していて、1枚は完売しました。4月には、インディーズから初のオリジナル曲CDを全国発売します。5月からは、FM西東京で土曜日の10時半からSoft Voiceの番組も始まる予定です。

—練習はどのくらいやっていますか？勉強との両立は大変ですか？

みき 練習は、週2〜3回。月に3〜4回はイベントがあります。イベント前は、練習時間も多くなります。

はるか テスト期間に本番がかぶったりすると大変ですが、学業優先で活動しています。

—歌を通して伝えたいことは何ですか？

めぐ 楽器を使わず声だけでやっているの、人の声の“あたたかさ”を伝えたいと思っています。楽しい気持ち、優しい気持ちを思い出してもらえたらいいな。少しでも聞く人の心に影響を与えられるよう心がけて歌っています。



あさこさん



めぐさん



—体調管理で気をつけていることはありますか？

みき 本番の前日は寝ます！リラックスして体を休めないといけないので。

めぐ 乾燥する時期は、濡らしたタオルを部屋に掛けたりしています。

みき あとはよく食べます！

めぐ 最近は半身浴とかして、体重に気をつけています(笑)。

みき 衣装が入らなくなっちゃうので(笑)。でも、普通の生活をして、ちょっと気をつけているくらいですよ。

—活動の支えは？

あさこ 地元の方たちにはとてもお世話になっています。それから「CDを買って毎日聴いているよ」とか、「遠くて聴きに行けないけど応援してます」など、HPに書き込まれるファンの方たちからの声を支えになっています。活動はお仕事として取り組んでいますし、歌える場所を与えてもらえて幸せだなあと思っています。

—将来の夢は？

みき 幸せな家庭を作って、優しいお母

さんになりたいです。Soft Voiceとしては、これからもっと練習して、すごいハーモニーを創っていききたいですね。そしていつかは世界進出！(爆笑)。海外にいる日本の方々に、私たちの童謡を聴いてもらい、懐かしく思っていただけらしいなって。

めぐ 私は目の前のことですけど、しっかり勉強して大学を卒業することです。大学で学んでいる心理学も生かしながら、音楽活動もずっと続けて、いろんな人に影響を与えられるグループになりたいと思っています。

はるか 英文学科で勉強しているので、卒業するまでに外国人と英語でコミュニケーションが取れるようになります。

あさこ いずれは幸せな家庭を築きたいと思いますが、ずっと音楽を続けていくことが夢です。Soft Voiceとしていろいろなところで活動して、さまざまなジャンルの曲を歌いたいです。これまでは、童謡やJ-POPを歌うことが多かったのですが、ジャズやオールディーズの曲にも興味を持っているので、レパートリーを増やしていければいいと思っています。



みきさん



Soft Voice のCD



童謡・唱歌メドレー



CHRISMAS PRESENTS



第4弾「一期一会」はSoft Voiceインターネットショップの他、東久留米駅北口のジンドー学園(☎: 042-475-6666)でも販売しています。

Soft Voice HP
http://ip.tosp.co.jp/asp/iv_voice

楽器も通訳もいらず、手軽に世界に飛び出していきそうなSoft Voiceの皆さん。今後もいろいろな活動をされると思いますが、また東久留米でも4人のハーモニーが聴けるのを楽しみにしています。

*メンバーの好きな音楽って？

- あさこさん aiko, YUI,
- ゆったりしたレゲエ
- みきさん ウルフルズのファン！
- 60年代のオールディーズ
- はるかさん 外国の男性アカペラグループの曲、HY
- めぐさん BUMP OF CHICKEN
- 湘南乃風、Dragon ash

世代をつなぐ農業

～ 東久留米の今～



遠くにはマンションも。遠藤さんの畑の隣に並ぶ家々。

一口メモ

◆農業における男女共同参画

農林水産省には、普及・女性課があり、農山漁村の女性たちのチャレンジを支援したり、女性の経営参画を推進するための対策を図っています。

東久留米市でも、農業振興計画の中で女性農業者への支援を今後の課題と施策にあげています。



パンフレット「あなたのチャレンジ応援します」農林水産省 発行

食の安全、食の大切さが話題になっています。市内のどこどころに畑が広がっていますが、食を作る東久留米市の農家の生活とは、どのようなものなのでしょう？

「農業は、男性中心の仕事というイメージ」「農家の女性って大変なの？」「そもそも東久留米に農家はどれくらいある？」などなど、編集委員の雑談から生まれた今号の特集テーマは、「東久留米の農業と農家を知ろう！」です。そこから見えてきたものは…!?

東久留米の農業

市内の農業について市民部産業振興課の農政係にお話を聞きました。

(本文中にもお話の一部を引用しています)

○農地○

市内には194 haの農地があります (H17年時点)。

人口が急激に増えた昭和45～50年にかけて、畑もどんどん減っていきました。現在でも毎年5～6haずつ減っています。

○農家数○

294戸の農家があり (H17年時点)、そのほとんどは家族で経営しています。そのうち兼業農家は146戸。専業・兼業農家とも、年々数が減っています。

農業をする方の高齢化や、相続などにより、規模が小さくなってきていることが減少の要因と考えられます。

○農業の担い手○

現在、東久留米の農業の担い手は、50歳代と70歳以上の方々为中心。30歳代までの若い年齢層の農業就業者は、少ないです。



○認定農業者○

農業者が立てた農業経営改善計画を、市が基本構想に照らして認定した農業経営のスペシャリストのことです。

東久留米では、現在、49人 (うち法人2) が認定されています。認定農業者の会もあって、研修なども行なっています。また、年2～3回、市役所近くの銀行の駐車場で地場産農産物の夕市を開催。毎回大盛況で、2時間くらいで完売してしまいます。

○都市農業の特徴○

都市部においては、農業だけで生計を立てていくのはとても難しく、農業のほかに不動産などの副収入がないと経営は厳しいです。

そんな中でも、生産者と消費者が近いという都市部ならではの農業の特色を出しているところ、地産地消の流れが出てきています。

○今昔物語○

東久留米の生産物は、以前は、牛や豚などの畜産と麦の栽培が中心でしたが、臭いなどが公害になったり、安価な輸入品が出回るようになったりして、少なくなりました。

代わって昭和40年代から、野菜の栽培が多くなってきました。現在、東久留米で主に生産されているのは、

ほうれん草 大根 小松菜
きゅうり トマト
なす トウモロコシ 水菜



などの野菜です。大根は重く、価格も安いので生産量が減ってきています。

野菜以外にも、栗や梨などの果物や花の栽培も盛ん。実は、東京都の中では梅の産地でもあります。

○援農ボランティア・農業ヘルパー○

農業に関心を持つ方を対象に、東京都農林水産振興財団とJAでは、援農ボランティア養成講座を実施し、農家に派遣しています。農家の人手不足を解消する目的もあります。

東久留米では、この制度は導入していませんが、近隣の西東京市、小平市、東村山市では、ボランティアを活用しているそうです。

地域によってはヘルパーという呼び方も。また、NPO法人などで有償のボランティア制度を作っているところもあります。

○合コン!?!○



農業後継者との出会いパーティーを開催している所があります。結婚するためには就職活動ならぬ、結婚活動が必要と言われる昨今、後継者不足はいつでも同じ…。開催の要望がありますが、東久留米市では行なっていません。

東久留米の農家

ロマネスコ*1、エアーポテト*2、インカの目覚め*3...これは何のことかわかりますか？
 実は、野菜の品種名なんです。

私たちになじみのある野菜のほかに、これら珍しい野菜栽培にも挑戦されている南町在住、東久留米市認定農業者の遠藤ご夫妻に話を聞きました。

○柳勝○

最近「○○が作りました！」と生産者の名前が表示された野菜を見かけます。遠藤さんも名前を入れて売っている野菜があります。その名が「柳勝」。かつての地名である柳窪新田の柳と、先々代まで2代続けて勝五郎さんという名前だったことから、この呼び名を使っているそうです。



左：遠藤栄子さん 右：遠藤清美さん

仕事や家事は家族で分担

農家の仕事は、朝早くに始まり、暗くなる
と終わるのですか？

清美...今朝は4時30分に起きました。それから出荷伝票の準備や品物の確認をして、6時には納品に出かけました。

栄子...私は6時30分頃起きました。家族総出で早起きということはありません。野菜は、畑から収穫すれば室内で作業できるので、出荷が多いときは、深夜まで働くこともあります。

自然災害を受けたことがありますか？

清美...台風や強風でハウスのビニールが破けてしまったことですね。今は資材も高いんですよ。

栄子...でもダメでもまた次行こうと。また種をまけばいいんです。時期によつては

月で収穫できるものもありますし、一年のうちで忙しい時期は？

栄子...トマトが始まる5月から7月くらいです。その時期は、一日16品目くらい出荷しています。

農作業や家事の分担は決まっていますか？

栄子...作業分担は暗黙の了解で決まっています。

清美...ハウスの中は暑いんですよ。

栄子...ハウスは私の担当なんです。中は室温が36℃、湿度が80%。ペットボトルで水分を持つて入ります。

家事は子どもたちが小さい頃から分担してくれています。夕飯も子どもが作ってくれます。長女から長男、長男から次男へと自然と教えあつて...。長女には頭が上がりません(笑)。

お子さんが小さいとき、学校行事に出る機会が来ましたか？

栄子...なるべく行くようにしていました。

学校に行つて気づいたのは、買い物をするのはほとんどお母さんたちなので、話をしていくと消費の動向がわかるんです。女性の好むものは商品として強いですよ。

家族旅行は？

栄子...行けないですね。

○作っている野菜○

40類以上の品種を作っています。トマトだけでも7~8種作っているそうです。

○農作業○

夫妻と夫の姉で行っています。週1回、2人のボランティアが半日作業を手伝っています。



サンロード

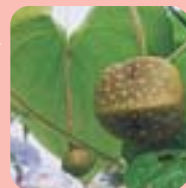
シシリアンリュージュ

黄色アイコ

*1 ロマネスコ (カリフラワーの一種)



*2 エアーポテト (むかごの一種)



*3 インカの目覚め (栗のように甘い、黄色いじゃがいも)



いつも夫婦一緒に

農業を継ぐことに迷いはなかったですか？

清美…本当はサラリーマンをやりたいかったんですよ。親の苦勞をさんざん見てきたので。たまたま親父が体を壊して。やらなきゃしょうがないかな〜と疑問なく始めちゃいましたね。



最初は、泥だらけになって、あまりいい商売じゃないなと思っただけです。でも何年かやっていると面白くなって、その時期があるんです。今になってみれば、すごく面白い商売だと思います。

農業をやっている方と結婚することについてはどうでしたか？

栄子…(清美さんが)好きだからですよ！

酪農にも興味があったのですが、今になれば農家でよかったと思っています。

お子さんたちは、農業を継ぐといっていますか？

清美…農業をやるかやらないかは、わかりませんね〜(笑)。

栄子…「継ぎなさい」とは言っていないです。農家のお母さんたちと「お宅は娘だから、うちとトレードしよう」なんて言うこともありませうけど(笑)。自分の将来を決め付けられたらイヤじゃないですか。

でも、農家のいいところは、仕事をしたい子どもにも「お帰り」って言えるんですよ。私自身、仕事をしているからウサは晴れるし、おじいちゃん、おばあちゃん、お義姉さんみんなで子育てしてくれましたし。

私、子どもをおんぶしたことなんてないくらい(笑)。サラリーマンの家の子は、初めてうちに来ると、日中にお父さんがいるって驚くんですよ。

世代を超えて、いつも家族それぞれの顔や後ろ姿が見えているわけですね。ご夫妻にとつて、生活も仕事もいつも一緒というのはどんな感じですか？

栄子…24時間耐えられますか〜ですよ(笑)

サラリーマンの夫をもつ仲良しの友人は、「あなたは、最初から24時間365日一緒に慣れてるからいいじゃない。私なんて、夫が定年になって突然家に居られたらどうしよう」って言っています。確かにそうかもなあ〜と別に我慢してきたわけではなく、自然にやってきたんですけどね。

何でも見てやろう！

家計のお財布はどのようになっているのですか？

栄子…私は専従者としてお給料をもらっています。でも、気づけば食費に消えていますね〜(笑)。あまり使うこともないし、服を買うのもTシャツとトレーナーとGパンだし(笑)。

ホームページがあるそうですが、農家もIT時代なのですね。

清美…どれくらい農家がパソコンを使っているのかは知りません。僕も多分、かみさん(栄子さんのこと)がいなかったら、一生パソコンなんて手にしなかったと思います。

栄子…以前、金融機関で働いていて、集計表などはパソコンでやった方がいいとわかっていたので、欲しい欲しいといひ続けました。でも、買ったのはいいけれど、システムを知らないの通信制の大学に行つて集計や統計学を学びました。5年で卒業は書いたのですが、外国語がだめで、8年かけて卒業しました。

何歳のときですか？

栄子…36歳くらいかな。長女が中学生、下の子はまだ幼稚園に行つていたと思います。スクーリングがあったので、その時期は減収でした。

清美…しよつちゅう出かけてましたね。でも、大学に行くつて言うんだから、何しても行くんだらうと反対はしませんでした。

栄子…だつて結婚してから5年間くらい、夫は毎年数週間、海外に行つていたんですよ。研修だと言つて、ほんといなくなつてしまつて。私はその間も仕事をしていたんですから。

それまでは平面的な考え方をしていたけれど、大学にはいろんな人がいて多面的、立体的に物事を考えられるようになりましたね。

清美…何でも見てこないより、見てきた方がいいと思うんです。自分にどの位投資したかというのは、後で出てきますからね。栄子…だからどつかに行くと言われても、行くなどは絶対に言いません。仕事は私がやつておくから、いつてらっしゃいって。私も時々出かけてますもの。



○家族経営協定○

家族で農業に取り組んでいる場合、経営方針や家族それぞれの役割、就業条件などを家族で話し合つて取り決めているところもあります。農業を企業的に考える形態です。

東久留米では、現在、8件の農家が協定を結んで農業をおこなっています。

○新規就農者○

年にわずかですが、東久留米で新たに農業をやろうという方がいるそうです。農家の娘さんと結婚して、農業を始める男性もいるそうです。

農家も社会的責任を持って

「エコファーマー」の認定を受けられていますが、環境について、どのような配慮をされているのですか？

清美…表に出して「うちはエコファーマーです」って訳ではないんです。たまたまそういうものがあつたので取ってみようかと。申請は結構大変ですし、更新の必要もあるんです。

環境については、特に農薬については、周りに飛散しないよう、洗濯物にかかってしまわないように風のない日に散布するようにしています。落ち葉を堆肥として利用もしています。

都市部での農業のメリット・デメリットはありますか？

清美…都市型の農業は、連作が出来るような畑を作っていかないといけないんです。モスフードにも出荷していますが、今、東京都でモスに出荷しているのはうちだけなんです。（出荷先にとつても）すぐ近くに生産者がいるというのは便利だと思えます。

農業の楽しさとは？

清美…種まきから収穫まで、完全最終できることです。毎日、野菜が育っていくのを、はつきり見ることが出来ることは楽しいですね。

今後の目標は？

清美…幸い、うちは今業績が右肩上がりなので、今の時期にまた何かほかの事を考

えないといけないと思います。私自身、毎年同じことをやっているのは好きではないので、違ったこともやっていきながら。また、農家である程度社会的責任もあると思うので、そういう考えも持ちながらやっていかないと農業自体も潰れてしまうと思います。

栄子…人が生きていくのに最低限の物を作っているの、地道にやっていければいいと思います。信念なんでもたなくても、農業が好きだから。

清美…そう、好きだからねえ



取材を通して、古くて新しい家族のあり方が農家にはあるのだと感じました。両親の仕事を知らない子どもが多い中、子どもにも働いている姿を見せることは、とても大事なことでと思います。

昔から伝わるものや方法を守ること、時代の流れを読みながら、新しいことにチャレンジしていくこと。そのバランス感覚が、農業だけでなく、日々の生活にも求められているのかもしれない。どっしりと地に足をつけ、かつフットワークは軽く…。そして、自分の仕事が好きだと言えることって、本当に素敵ですよ！

最後に、農家の女性について栄子さんにかがうと「農家は畑だけでなく、家全体を女の人が回しているんですよ。表には出なくても、陰に女ありますよ」と。ここだけの話…と言われましたが、掲載してしまいました（笑）。

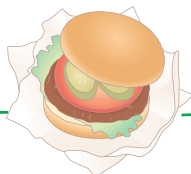


○エコファーマー○

持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律（持続農業法）に基づいて、農家が「持続性の高い農業生産方式」の導入計画を作り、東京都知事の認定を受けます。この農業者の愛称が「エコファーマー」です。市内で認定されている方は60人位。

○出荷○

市場や卸業者に一括して出す場合や、個別にスーパーやレストランなどの店舗に納める形態があります。遠藤さんは、武蔵境のイトーヨーカドーやモスフードにも出荷されています。ぜひチェックしてみてください！



○営農振興会○

JA 東京みらいの中にさらに地域・業種ごとに組織が作られています。東久留米には、緑化組合、いちご生産研究会、果樹組合など7つの組織があります。

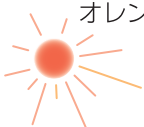
遠藤さんは、野菜の生産者で作る会員数約80人の営農振興会に入っています。女性部も活動していて、毎年11月の市民みんなのまつり農業祭・商工祭では、けんちん汁を出しています。女性部でも研修旅行に行ったり、普段は中国体操もやったりしているそうです。

○JA 東京みらい（東京みらい農業協同組合）○

東久留米市、東村山市、清瀬市、西東京市の4つのJAが合併してできた組合です。JAは、組合員農家の農業経営と生活を守り、よりよい地域社会を築くことを目的として作られた協同組合です。他にも、貯蓄などの信用事業、共済事業、観光代理業や葬祭などの事業もおこなっています。



オレンジカリフラワー



やなぎ く ほ

柳久保小麦

「柳久保小麦」は寛永4（1851）年、現在の東久留米市柳窪の奥住又右衛門さんが旅先から持ち帰った一穂の麦から生まれたといわれています。良質の粉ができ、うどん用として人気があり、麦の草丈が長いので麦藁は農家のわら屋根にも利用された重要な品種でした。しかし、量産するのが難しい品種でもあり、第2次世界大戦中にその姿は消えてしまいました。

近年、この小麦を使ったうどん、まんじゅう、かりんとう、パンなどの特産品が誕生しています。

うどんはツルツル（鶴鶴）噛め噛め（亀亀）と縁起の良い食べ物だそうです。昔の東久留米の辺りでは、うどんを打てないとお嫁に行かれないと言われていたらしいですよ！



食育

遠藤さんの作ったオレンジカリフラワーは、昨年秋に市内の五小と九小の学校給食に出されました。そのときは、鉢植えのオレンジカリフラワーを学校に持って行って、子どもたちに見せたそうです。

南町小の3年生は、毎年農家見学で遠藤さんの畑を訪れています。

市の産業振興課でも、市内で生産された農作物を給食に取り入れていきたいと考えているそうです。

農家の直売所

市内あちらこちらの畑や農家の庭先で、農産物が販売されています。無人スタンドもありますが、農家の方が直接販売してくれるところも増えています。「料金不足が多い」という農家からの声もあるそうですよ。

東久留米トピックス

東久留米の特産品

柳久保小麦を使用した



うどん



パン



まんじゅう



かりんとう



梅を使用した

ワイン「梅っふう」

「ひがしくるめ野菜・果樹・花 農業ふれあいマップ」

市内各所の直売所マップが産業振興課から発行されています。マップ掲載以外の直売所もあるそうなので、マップを参考に東久留米を再発見しましょう！市役所6階の産業振興課で無料配布しています。



ちさんちしょう 地産地消を目指そう！

地元で生産されたものを地元で消費することを地産地消と言います。

地元の農家を応援するためにも、食料自給率を上げるためにも、食料輸送に要するエネルギーをできるだけ減らすためにも、何より、安全で新鮮な顔の見える地元の農産物を食べましょう。



『モモちゃんとアカネちゃん シリーズ 6冊』

松谷みよ子著 講談社／609円～651円(税込)



「うちには、どうしてお父さんがいないの？そこを書いてほしい。書くのは恥ずかしい？」
「恥ずかしくはないけど」
「じゃあ、書いて」
小学校に上がる前の幼い娘の願いに応え、松谷みよ子さんは夫との

別れを書いた。同じ植木鉢に枯れかかった木が二本。一本を抜くとその木は元気になって歩き出した。残された木は、葉っぱを生い茂らせどんどん大きくなっていった。育つ木と歩く木は、一緒にいられなかったと。娘は黙って読んで「わかった」と言ったそうだ。

「ちいさいモモちゃん」から始まるモモちゃんシリーズは1996年に始まり、30年をかけた6冊で完結した。親子二代のファンも多と思う。私も幼い頃から、モモちゃんたちが大好きだった。真夏に産まれたモモちゃんがどんどん大きくなり、黒猫の親友ができて

雲に乗ったり、影をなめられたり。たまにちよつと怖い話もあったが、それも魅力で；ワクワクして読んでいた。きつとどこかにいるモモちゃんに、会いたいと思っていた。子どもの私は、モモちゃんたち視線で、オトナの理不尽さを嘆いたりもした。

母になってオトナ目線で見ると、ママが子育ての同志のように感じられる。モモちゃんのママは、「赤ちゃんの家」に子どもを預けて働くワーキングマザーである。日々奮闘し、葛藤し、子どもたちと向き合っている。そしてママは、夫と心が通じなくなっ

『老楽力』

外山滋比古著 展望社／1,680円(税込)



85歳の英文学者にしてエッセイストとしても活躍する著者。その特有の筆法は、どの作品を読んでも格好いい。
世は高齢化社会である。人生はよくマラソンに例えられるが、昔と比べて人生のコースはマラソン並みに長くなった。マラソンの中間点である折り返し点では、それ

までの順位があつたという間にひっくりかえることもある。人生も定年を迎える頃からが、新たな勝負と言えよう。どんな競技であつてもゴールテープを目指して力走し、駆け抜けていく姿には、何とも言えない爽快感を感じるものだ。人生もかくありたい。

日本で老化について恐れる風潮が広まったのは、1970（昭和45）年前後である。それに火をつけたのは、サミエル・ウルマンの『青春』という、一篇の詩だと言われている。

長生きすることは、素晴らしいこと。年を取ったといつても、くじけることはない。新しい挑戦への意志を堅持することが「老楽力」

年を重ねても、心さえ若さを失わなければ青春である。若くさえあればいいというものでもない。老人が若者ぶったところでどうなるものでもない。今はさまざまなアンチエイジングが大はやりだが、無理に若々しくなくともいい、老人は老人らしく、老いることは何ら恥じるものでもないだろう。生き生きしてこそ、人間としての本来の姿であり、円熟の美学はそこから生まれると、著者は言っている。

最後は一日にしてならず
ただし、その実りは豊かである
というエールをしっかりと受け取り、積極的に老いに向かっている。

の「鍵」なのだ。老化は防ぎきれものではない。ならば、攻撃は最大の防御と考え、著者の



「気づかない・・・DV」を考えるpart4

「デートDVなんてイヤ！
ハッピーな交際とは？」

○日時 平成20年11月3日(月)
午後1時～3時

○場所 市役所701会議室

○講師 山口のり子氏

(アウエア代表)



山口のり子さん

講師は、DV加害者やデートDV防止プログラムを実施している民間団体代表の山口のり子さん。

けんかは両者の関係が対等であるからでき、デートDVは不平等な関係の中で起こるのだと説明されました。自分らしくあるための自己決定を相手から奪うこと、奪われることがDVであり、若者が聞く流行りの歌にも、男女はかくあるべしといった固定観念が織り込まれていることを知り驚きました。

自分が当たり前と思っていることでも、色々な人のお話をうかがうことで「あれ、おかしいぞ？」と気づくことが出来るので、好奇心のアンテナを張り巡らして、周りに目を向けていこうと思いました。

保育付公開セミナー

「再就職・転職をめざす人たちのためのGET！再就職！
自分を輝かせる就活テク」

○日時 平成20年11月12日(水)

午前9時30分～午後0時30分

○場所 市役所 701会議室

○講師 鈴木和夫氏(東京都しごとセンター事業受託事業者、株ライトマネジメントジャパンの認定キャリア・コンサルタント、就職支援アドバイザー)

○共催 財団法人東京しごと財団

東京しごとセンター



鈴木和夫さん

再就職を考えている人向けに、最新再就職事情、上手に自分を表現できる応募書類の書き方、面接の受け方を学ぶセミナーが開催されました。別の日程で、マイクロスソフト・エクセルの習得を目指すIT講習も開催されたそうです。

講師の鈴木さんは、自分のやりたいた仕事とミスマッチしないためには、具体的な就職テクニックも必要だが、まず自分をよく知り、何をしたいのか見つめた上で、仕事選びをしまし

ようと話されました。

休日は趣味の写真をネットにUPして楽しんでいるという「ワーク・ライフ・バランス」のモデルというべき鈴木さんの口調は、穏やかながらはつらつとしていました。

「ワーキングプアじゃ
生きられない」

○日時 平成21年2月14日(土)

午後1時30分～3時30分

○場所 市役所 701会議室

○講師 雨宮処凛氏(作家・反貧困ネットワーク副代表)

○インタビュアー 山口さなえ氏

(『蟹工船』読者エッセイコンテスト大賞受賞)

○共催 働き方を考える会「シッカリ」



雨宮処凛さん



山口さなえさん

景気は回復するどころか危機的な状況にあり、ワーキングプア現象は、生存への危機の問題となりつつある。社会のセーフティネットの対象とならないどころか、存在すら黙視される膨大な労働者たちがいる。

講座は、全体的にとっても興味深く、有意義だった。雨宮さんは、自分の目と耳をつかい、さまざまなたとえで、お二人でこの講座の講師として会場に現れた。上映された映像の中で、新宿のヒップホップな行進が自然に人数を増やしていったように、労働者たちは、緩やかでありながらもリアルな横のつながりを見いだしつつある。そして公の場に姿を現し、発言しはじめた。ぎりぎりの状況に追い込まれながらも、社会に応答と行動を求めているのだ。

生存権の保障へ向かうために、自殺や弱い者を攻撃することで苦痛や不安、恐怖を吐き出すのではなく、分断や孤立を克服して労働者たちがつながっていく可能性を模索している。

(講座参加者・30代・男性)



Join us and Enjoy together! フィフティ²から

パパクラブ@東久留米へ メンバー募集中!

パパクラブ@東久留米とは?

東久留米市男女平等推進センター「フィフティ」の呼びかけで、昨年6月に結成された「パパたちによる、パパたちのための」クラブです。

月1〜2回のメンバーミーティングを行い、パパ目線で楽しい企画を立案し実行しています。

ミーティング以外では、メールマガジンを活用しメンバー同士でさまざまな情報をやり取りしています。

活動内容

子育てや家庭に関する情報交換や、家族で楽しめるイベント企画とその実行

パパ仲間

会員数 16名 (2月現在)

会費 無料

参加資格 新米パパ・ベテランパパ・これからパパ

あなたも仲間になりませんか?
あなたもパパクラブに入り、よくばって生きてみませんか? きっと新しい世界が開けるはず。「パパクラブ入会」への問い合わせ・申込みは、センターへ。



月一回 参加してみたい家族円満(楽観パパ) パパクラブ 土日をもっとワクワクに(湧水マン)



手打ちうどん講座 2008年8月23日 わくわく健康プラザ



手打ちうどん 親子同士で伸ばし合い(親学5年生) うどん打ち 食べて子どもも両手打ち(面食いママ)

地元名店の和定食に挑戦 2008年11月1日 東部地域センター



料理して日頃のママに感謝わく(敬ちゃん最高) グシ覚え、家でも味噌汁作りけり(パパ松翁) 和定食 習ってきたらパパ当番(◎)

アイロンがけ講習会 2008年12月13日 男女平等推進センター



ノリかけてイノリもかけてしわ伸ばす(のりお) アイロンにパパおから込めアイを込め(あちつ)

今後の講座情報(予定)

5月11・18・25日(月)「ライター入門ナビ〜楽しくめざそう!ライターを!」
6月18日(木)シネマdeおしゃべり『おくりびと』

*全ての講座に、2歳以上未就学児の保育あり。
*申込み制。必ず事前に男女平等推進センターへ、時間・場所などご確認ください。

編集後記

- 私にとって農業という未知の世界にドキドキしながらの取材。遠藤さんご夫妻が、とても明るく協力しあって前向きに頑張っている姿にとても感動しました。(M)
- 編集委員3年目に突入!書くことは脳トレに、学び知る機会とは心と頭の栄養に!さらにさまざまな出会いには感謝!(T)
- 経済危機が世界規模で拡大している。手をこまねいても埒があかない。克服には強い指導力が必要ではないか?(S)
- 毎号新しい「ときめき」が出ると子どもたちがとても喜びます。多くの人たちが「ときめき」を手にしてくれたら嬉しいです。(N)
- 特集で東久留米が梅の産地と知る。寒い季節に可憐な紅白の花が春を告げてくれる。梅の林をいつまでも残したい。(I)

「男女平等推進センター」をご利用ください。

施設案内
交流ロビー 参考図書・資料コーナー
会議室 保育コーナー

・会議室の使用申請は、使用日の2カ月前の初日から前日まで。

専門相談

女性の悩みごと相談

毎週月曜日(祝日を除く)の午後1時30分から午後4時30分

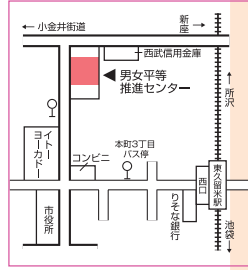
女性弁護士による法律相談

毎月第1金曜日の午前9時30分から午後0時30分
・いずれの相談も予約制(先着順)。詳しくはセンターへ。

所在地・開館時間

東久留米市本町3-9-1-102
TEL (042) 472-0061
FAX (042) 472-0053
メール fifty2@higashikurume-city.jp

開館時間/月、水〜日曜日
午前9時から午後9時30分
(午後7時30分以降の会議室利用がない場合は、午後7時30分まで)
閉館日/火曜日と年末年始
(12月29日〜1月3日)



「ときめき」は、年2回発行。公募の市民による編集委員5人と協力員4人が企画編集しています。内容についてあなたのご意見・ご感想を市民部生活文化課、または男女平等推進センター宛お寄せください。

